

国語プリント No. ()

年 組 番 名前

配布日 月 日 曜

音読作品を作ろう

言葉をきれいに発するというのは非常に難しい。普段の会話ではイントネーションや滑舌が多少乱れていても話したい内容は通じる。ところが「きれいに」となると、様々な要素がからんで、非常に難しい。

この単元では文学作品を一つ選び、音読の練習をし、音読したものを収録し、「作品」として完成することを目指す。

「きれい」に音読するための要素

- ・滑舌をよくする
- ・正しい漢字の読み
- ・字を見誤らないで読む (「ぬ」と「め」「は」と「ほ」など)
- ・正しいイントネーション (例 著と端)
- ・正しい区切り(例 ここではきものをぬいでください・あぶないからはいってはいけません)
- ・聞こえる声の大きさ

《音読する作品を選ぶ》

音読作品は web ページにアップするので、著作権保護期間(作者の死後50年)が過ぎている作品をでなければならぬ。よって、その条件に合う作家の作品で、音の響きの美しさを意識して作られている太宰治の短編をグループで分割して音読することにする。

あなたの担当の作品名

その作品を読む順番

1 人目 ()	2 人目 ()
3 人目 ()	4 人目 ()

《収録方法》

雑音が入らないように気をつけ、大きな声で収録する。
声が小さかったり、雑音が大きかったりした場合は再収録とする。
読み間違え、イントネーションがおかしい場合は再収録とする。

《作業》グループで読みの確認(漢字・イントネーション) グループで相互に読み合わせ 収録